

# 地域包括ケアに関する取組み

博多区

令和8年3月末現在

## ○概況

<p><b>【人口動態、地形、生活環境等の地域特性】</b> 博多区は、市の中心部から南東部に位置し、J R博多駅、博多港、福岡空港を抱える陸・海・空の玄関口であるとともに、国道3号が区内を縦断する交通の中枢となっている。 博多駅を中心とする北部の都市周辺と、南部の住宅地域に大別される。生活の便が良い地域が多いが、空港の東側の丘陵地など、高齢者にとっては不便な地域もある。</p> <p><b>【高齢者の状況（高齢化率等）】</b> 高齢化率は市内で最も低いが、区内の地域間の差は大きい。高齢者の世帯状況は、高齢者がいる世帯のうち、43%が単身世帯(R2国勢調査)であり、市内でも高齢単身世帯が多い。 博多駅周辺を含む都市部では、オートロックマンションが多く、見守りや地域へのつなぎ支援が難しい。</p> <p><b>【社会資源（介護サービス事業所や医療機関、地域コミュニティの状況）】</b> 社会資源・地域コミュニティともに地域の差は大きい。特に都市部は、住民の関係性が希薄化しており、地域での見守りや支援体制がとりにくい状況にある。 専門職同士のつながり強化についても、専門職の入れ替わりも多く「切れ目のない」体制づくりが難しい。 医療と介護の事業所が互いにつながりあって、高齢者の健康づくりや介護予防を応援する地域貢献活動を行う事業所ネットワークが区内8圏域で立ち上がっている。さらに、事業所ネットワークの連合体「ワンチームHAKATA」を結成し、圏域を越えた情報交換や事業所間の相互連携及び親睦を図っている。</p>	人口（人）	249,399
	高齢者数（人）	44,208
	高齢化率（%）	17.7
	小学校区数 (自治協議会数)	18 (22)
	いきいきセンター 圏域数	8

## ○地域包括ケアに関する現状と課題

- 博多区では単身高齢者が多く、支援が必要な高齢者の把握に努めるとともに、各種団体の横のつながりを一層強化する必要がある。
- 在宅医療の推進と、災害等有事の際の対応として、日頃からの備えやACPの普及、住民同士の交流や共助が重要である。
- 成年後見制度の適正利用に向けた理解促進を図るとともに、権利擁護支援ニーズの増加に対応するための関係機関との連携及び持続可能な仕組みづくりが重要である。

## 1. 令和8年度取組みの中で、特徴あるもの

### 取組み内容

#### 「事業所ネットワーク」と連携した取組み

##### (1) インクルーシブ防災訓練への協力

・前年度東光校区で実施の福祉用具体験会をさらに内容を拡充し、インクルーシブ防災訓練として開催支援。協力事業所も増えている。

東光校区福祉用具体験会の様子



##### (2) 発展的な認知症サポーター養成講座の実施

・認知症声掛け訓練・認知症サポーターステップアップ講座・親子向け講座など、基本講座から一歩進んだ内容で開催。

##### (3) 校区体力測定や健康フェアへの協力拡大

・東光校区、席田校区、東月隈校区で実施している体力測定を周辺の校区にも広げて実施。堅粕健康フェアの開催に向けて活動中。

東月隈校区体力測定の様子



##### (4) 博多区事業所ネットワーク連合体「ワンチームHAKATA」広報の拡充

・各圏域の事業所ネットワークについて、事業所紹介リストを作成し、区ホームページに掲載。ホームページのブランディングエリアや市政だよりでも広報を行う。



東吉塚校区キッズ向け認知症サポーター養成講座（ステップアップ編）の様子

## 2. 令和7年度の取組み状況

### ① 個別支援における成功事例、課題など（個別支援会議の傾向など）

【検討内容】 8050問題や複合課題を抱える世帯への支援、高齢者虐待対応事例、成年後見制度を含む権利擁護が必要な事例、認知症の方への支援 等  
 【介護予防型個別支援会議検討事例】 フレイル、オーラルフレイル、低栄養、口腔機能低下等の課題を抱える事例

個別支援会議 開催状況：回数：78回（うち、介護予防型個別支援会議16回）

### ② 住民同士の助け合い・支えあい活動

■各校区・地区の役員等が集まり、プランのもと話し合う（高齢者地域支援会議）



課題を共有し、新たな取組みにつなげる



高齢者地域支援会議 開催状況：区内22校区（地区）で実施、延べ32回

### ③ 在宅医療・介護連携や多職種連携の推進に向けた取組み

#### (1) 多職種連携

【多職種連携実行委員会】 全3回  
 ・博多区医師会、博多区歯科医師会、博多区薬剤師会、訪問看護ステーション会、ケアネット博多、博多区MSW等の、医療と介護に携わる職能団体による協議・意見交換会の開催。

【多職種連携研修会】 全3回 / 237名参加

- ① ACPを活かした看取り
- ② 独居高齢者の栄養支援について
- ③ 止まらぬ人口減少・在宅医療への影響

#### (2) 事業所ネットワーク

・博多区内全8圏域で事業所ネットワークが立ち上がった。  
 また、全事業所ネットワークの連合体を「ワンチームHAKATA」と称し、連携して活動中。

【活動内容】

- ・事業所同士の顔の見える関係づくり
- ・認知症サポーター養成講座の展開による地域貢献活動
- ・公民館講座やふれあいサロン、認知症カフェの開催支援
- ・福祉用具体験や車いす移送など、インクルーシブ防災訓練への協力
- ・「ワンチームHAKATA」設置要領を作成、連絡ツールMCSを整備、年2回定例会にて情報共有・意見交換を実施

#### (3) よかトレ実践ステーションの創出・継続

・高齢者が身近な地域で主体的に介護予防に取り組む「よかトレ実践ステーション」の創出、継続支援を実施。

・自主グループのサポーター発掘と新規施設よかトレ創出のため、区事業所ネットワーク定例会や圏域ごとの定例会でよかトレについて周知。

・区内で活動中のよかトレ実践ステーション138カ所（R7年度の新規創出9カ所）

#### (4) オーラルフレイル予防の啓発

・介護予防を目的に、フレイルの前段階といわれるオーラルフレイルについて、歯科衛生士や保健師による予防の普及啓発を校区の通りの場等で実施。（75回1,262人）

・区歯科医師会と連携し、以下①②を実施

- ① 区歯科医師会研修で博多区の取組みを紹介
- ② 歯科医院にオーラルフレイル予防のポスターを配布

圏域連携会議 会議回数：7回  
 開催状況 テーマ：ACP・ALP/成年後見制度/社会資源について/認知症への対応/地域の防災対策 他

### ④ 区レベルの取組み（特徴ある取組み）

#### 区地域包括ケア推進プロジェクト会議

他部門の関係各課の取組みを共有し、区内における地域包括ケア推進及び連携体制の強化を図る。  
 校区情報交換会 校区（地区）の実情や住民ニーズに沿った、より良い支援を行うための意見交換会を実施。

区地域包括ケア推進会議開催状況 区地域包括ケア推進会議：1回  
 部会：①在宅医療・介護部会 ②権利擁護部会 ③生活支援・介護予防部会 各1回  
 検討結果等：多職種連携の強化と質の向上、ACPの普及・啓発、成年後見制度の利用促進、災害対応 他

#### (2) その他、在宅医療・介護連携の推進に関する取組み、事業所ネットワークの活動等

取組み	具体的内容
地域包括ケアシステムフォーラム	「災害が在宅医療に及ぼす影響」をテーマに、3名の講師による市民向けフォーラムを開催
職能団体による主な活動 ① ケアネット博多（介護支援専門員連絡会） ② 博多区訪問看護ステーション会 ③ 博多区医療ソーシャルワーカー交流会	① 役員会、総会、定例会を開催 研修会：高齢者虐待対応、ヤングケアラー、成年後見制度出前講座 ② 訪問看護ステーション連携型BCPの実装に向けた取組み ③ 研修会、交流会を開催 研修：成年後見制度出前講座、後見人業務の実際
・キャラバンメイト・ワンチームHAKATA定例会 ・各圏域毎の事業所ネットワーク定例会	・区内8カ所の事業所ネットワークが定例会を開催し、事業展開について協議している。 ・事業所ネットワークの集合体「ワンチームHAKATA」と認知症サポーター養成講座の講師（キャラバンメイト）の情報交換会を開催。